

令和7年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間 最終)

郷原中学校区 校番6

学校名 呉市立郷原小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
確かな学び	主体的に学ぶ児童の育成	基礎学力の定着(算数科) 表現力の向上	○算数科の各単元末テスト(知識・技能)の学級平均点が75点以上の割合は8学級中7学級で88%だった。単元によっては、75点を下回る学級もあった。 ○1学期末の振り返りの分析では、振り返りの3観点に合わせて質の高い振り返りを書くことができた児童は10%であり、昨年度の同時期に比べ増加している。3観点中、2観点を書くことができた児童も含めると33%となった。一方で、書くことに抵抗感がある児童も多い。	○水曜日の放課後の補充学習(城山タイム)やチャレンジタイムで百マス計算を行ったりQubenaを活用したりして、基礎学力の定着を図る。 ○教室や校内の算数科提示を交流し、児童の興味をひく内容となるように工夫する。触ったり動かしたりして量感を養えるような内容を掲示する。 ○算数科の単元終わりに、学習したことや自身の成長したところ分かるように「ふりかえりカード」にメモしておくことで、学期末に振り返る際に活用できるようにする。
豊かな心	人との関わりから学ぶ児童の育成	いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくりを推進する。 ふるさと郷原を愛する児童の育成	○全校児童のほとんどが「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」に肯定的な回答をしていた。現在の取組で、いじめを許さない風土が育まれている。 ○肯定的回答が80%と、目標を少し下回る結果となった。しかし、昨年度の最終の数値を維持しており、よい傾向といえる。	○現在の取組の継続。さらに、否定的な回答をした児童の現状を把握し、内面的に成長できるようにする。 ○地域と連携した活動は、年間計画に位置付けている。活動を通して、関わってくれている地域の方の思いを感じ取ることができるよう単元を構成する。活動後も、地域の方の思いを自分の事として考えられるようにまとめ等を工夫する。
健やかな体	自らの健康を考えて安全に行動できる児童の育成	進んで健康・体力づくりに努める児童の育成 自分の命は自分で守ろうとする児童の育成	○目標の数値はクリアしている。しかし、種目別に見ると、50m走はほとんどの学年・男女とも上回るが、握力・上体おこしは高学年が下回っている。 ○「呉市防災教育カリキュラム」に基づいた授業の実施率は100%であった。7月の防災週間に実施期間を設定し、全クラスでそれぞれ取組を実施することができた。	○今までの取組を継続して行うことで体力の向上を図っていく。今後は陸上記録会やロードレース大会、チャレンジマッチスタジアム参加などを通して、意欲をもたせながら力を高めていきたい。また、毎日の体力づくりカードや牛乳パックの折り方を変えることで握力の向上を意識付けしていく。 ○今後も取組を継続し、教育活動全体を通して、防災教育を実施していく。
業務改善	教職員が意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童と向き合う時間の確保 長時間勤務の削減	○教職員アンケートにおいて「確保できている」と肯定的に回答した教職員の割合は100%であり、指標(80%以上)を達成することができた。SSS(スクール・サポート・スタッフ)や学校教育指導補助員等による業務支援は大きな支えとなっている。 ○時間外勤務45時間を超える教職員の割合は16%であり、指標(30%以下)を達成することはできた。	○「何でも聞ける」「相談できる」雰囲気を作職員全員でつくり、安心して働ける環境を整え、維持していく。 ○教職員のボトムアップによる業務改善を継続して進める。 ○教職員のタイムマネジメントの向上を図りつつ、会議や日課の時間短縮や時数削減等を活用し、放課後の時間確保に今後も努める。